

稲WCSを生産する耕種農家の皆様へ

令和8（2026）年10月
畜産振興課

畜産農家が求める稲WCS 5つのポイント

①極短穂茎葉型品種 \おすすめ/

つきはやか（早生）
つきあやか（中生）
つきすずか（晩生） ほか

【特長】

- ・もみが少ない ⇒ 牛の消化率が高い
 - ・茎葉中の糖含量が高い ⇒ 牛の嗜好性がよい
 - ・倒伏しにくい ⇒ 収穫への影響が少ない
 - ・収穫適期が長い ⇒ 作業の分散が可能
- ⇒ 出穂から**40日以降（9～11月）**※に収穫

※地域や品種によって収穫適期は異なります

②細断長 3.0cm以下

- ・密度が上がリカビの発生防止につながります
- ・細断には専用の収穫機械が必要です
- ・収穫機のない方は、管轄の農業振興事務所に御相談ください（コントラクターアドバイザーを紹介します）



③添加剤の利用

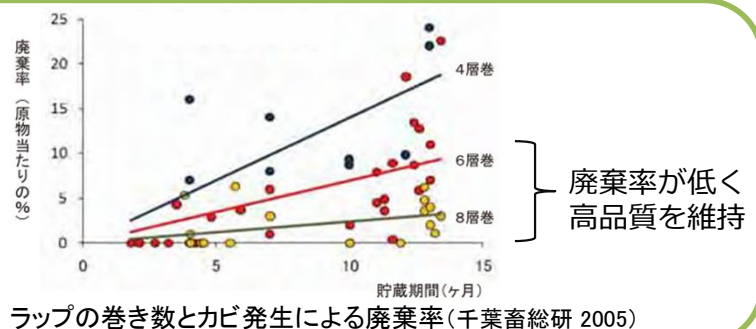
- ・乳酸発酵を促すため、稲WCSに適した添加剤を利用しましょう



写真：（株）タカキタHPより

④ラップは8層以上

- ・カビの発生による品質低下を防ぐため、空気が入らないように6層（重複率50%の3回ラップ）を基本にし、長期保存の場合は8層以上で密封しましょう



写真：雪印種苗（株）HPより

⑤雑草・土の混入ゼロ

- ・雑草の混入による収量や発酵品質の低下を防ぐため、適切な水管理や薬剤防除を行いましょう
- ・高刈り（15cm目安）を行うほか、湿田ではブルーシート等の上にロールを放出するなどの工夫をして、土や泥の付着を防ぎましょう

稲WCSの品質確保のため、次の5つの項目を確認しましょう

①品種

極短穂茎葉型品種

- つきはやか（早生）
- つきあやか（中生）
- つきすずか（晩生） ほか

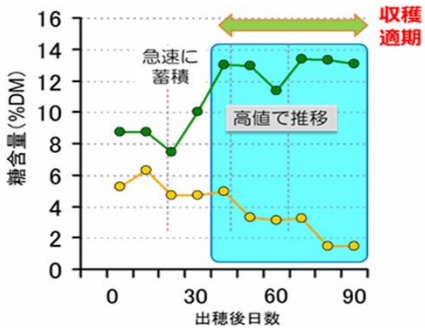
【特長】

- ・もみが少ない⇒牛の消化率がよい
- ・糖含量が多い⇒牛の嗜好性がよい
- ・倒伏しにくい⇒収穫への影響が少ない
- ・収穫適期が長い⇒作業の分散が可能

従来型品種

リーフスター・夢あおば・コシヒカリ ほか

糖含量の推移。 極短穂茎葉型品種 ● 従来型品種



従来品種と極短穂茎葉型品種の出穂後の糖含量の推移
(広島県立総合技術研究所河野ら)

【サイレージ発酵のキホン】

- ・植物が呼吸で酸素を使いロール内が嫌気状態になる
- ・嫌気を好む乳酸菌が糖を使って乳酸を作ること
- ・ロール内が酸性状態（pH4.2以下）になる
- ⇒雑菌の繁殖が抑制される
- ⇒長期保存が可能となる

糖含量の多い極短穂型品種は
乳酸発酵しやすく高品質を維持できる

②移植日（播種日）・出穂日・収穫日

※地域によって収穫適期は異なります

		4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月		
		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
極短穂 茎葉型 品種	つきはやか				移植									出穂			収穫								
								移植							出穂			収穫							
	つきあやか				移植									出穂			収穫								
								移植							出穂			収穫							
	つきすずか				移植												出穂			収穫					
								移植										出穂			収穫				
従来型 品種	コシヒカリ				移植									出穂			収穫								

霜が降りる
前に

- ・極短穂茎葉型品種：出穂から40日以降に収穫 遅くてもOK
- ・従来型品種：出穂から40日以内に収穫 遅れると牛の消化率が低下

ロールの水分が高いと不良発酵の原因になるため、
雨の日・早朝の露があるときは収穫・調整作業を避けましょう



③収穫調製方法

細断には専用の
収穫機械が必要です



汎用型収穫機
専用収穫機
写真：(株)タカキタHPより

・稲の植物体は中空のストロー状になって
いるため、細断により構造が破壊
⇒密度が上がって発酵が促進される
細断長は3.0cmを基準に、それ以下に
する場合は販売先と相談しましょう



ラップすると中が見えないので、
細断長が分かる写真を撮っておきましょう

・添加剤により
乳酸発酵促進
⇒高品質を維持



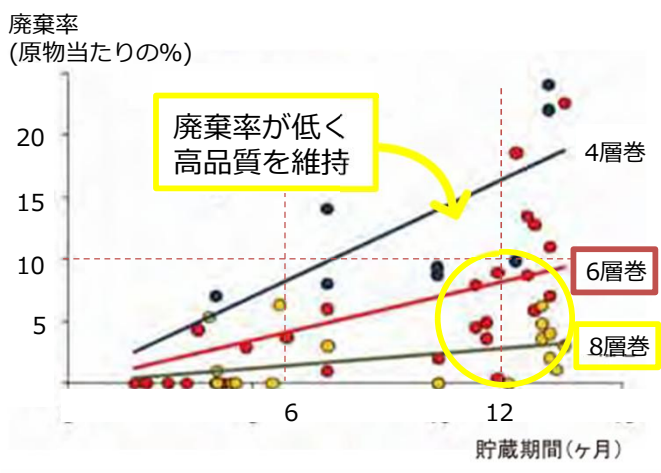
写真：雪印種苗(株) HPより

稲WCSに適した
添加剤を使用
しましょう

※収穫機を持っている方は定期的にメンテナンスを行いましょう
※収穫機のない方は、管轄の農業振興事務所に御相談ください
(コントラクター組織育成アドバイザーを紹介します)

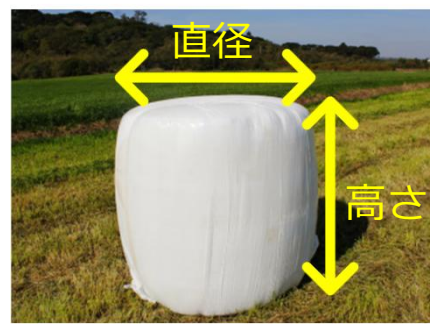
④ロールベール成形

・密封することでカビの発生防止
⇒高品質を維持し長期保存が可能となる



品質低下を防ぐ
ため、空気が入
らないよう6層
(重複率50%の
3回ラップ)を
基本に、長期保
存の場合は8層
以上で密封しま
しょう

・寸法や重量を記録して
商品を管理
⇒販売する際に情報提示



生産したロールベールの
大きさ(機械の設定)を
記録し、重量をはかりま
しょう

⑤雑草・土の混入防止

・雑草の混入による収量や発酵品質の低下を防ぐため、
適切な水管理や薬剤防除を行いましょう
・高刈り(15cm目安)を行うほか、土や水たまりなどの
上にロールを置かないよう、湿田ではブルーシートを
敷くなどの工夫をしましよう

土壌の混入に注意して
作業しましよう



お問い合わせ先(電話番号)			
畜産振興課	028-623-2350	下都賀農業振興事務所	0282-24-1101
河内農業振興事務所	028-626-3073	塩谷南那須農業振興事務所	0287-43-2318
上都賀農業振興事務所	0289-62-6125	那須農業振興事務所	0287-22-2826
芳賀農業振興事務所	0285-82-3074	安足農業振興事務所	0283-23-1431